

平成27年度 学校法人三幸学園 札幌ビューティーアート専門学校  
自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者:副校長 大石由恵子

学校関係者報告責任者:学校関係者評価委員会委員長 池澤真弓

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を世界を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また、「技能と心の調和」を教育理念とし、「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで、社会に貢献する人材」、またビューティー分野の学校として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

平成27年度学校目標

「みんな(生徒・同僚・取引先)を思いやり、愛することで、B×artを明るく元気にする！」

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ①退学率の低減

平成26年度 11.7% → 平成27年度 9.6%

### ②社会に適合できる、必要とされる人材を育てる

- (1)基礎指導の徹底(あいさつ・返事・言葉づかい・時間管理・体調管理・笑顔・清掃)
- (2)主体性の育成
- (3)資格取得
- (4)技術の向上

<振り返り>

### ①退学率 9.6%

退学者が出ることはつらいこと、夢をあきらめさせないようにという意識のもと、教職員全員で取り組んだ結果が出た。

### ②(1)あいさつについては、習慣づけがほぼできており、外部の方からもお褒めをいただいている。

体調管理が甘く、欠席が多い。時間・期日管理は、まだまだ強化しなければならない。

清掃は、時間をかけ、しっかりできるようになっている。

### (2)自ら考え行動するという面では、なかなかできない学生のほうが多い。

答えを求めてくる学生が多い。

### (3)美容師国家資格では、100%の合格率をあげられなかった。(2名不合格)

その他の資格試験では、ほぼ100%の合格率をあげられた。

生徒の満足度は高い。

### (4)授業の質の向上は、常に教科内で検討し実践している。手合わせや外部講師の研修などの機会を設けている。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

#### ① 課題

教育理念については、教職員・生徒・保護者とも浸透されているが、目指す人物像については、さらに発信していく必要がある。

#### ② 今後の改善方策

教職員には、会議や掲示物を活用しさらに浸透を図る。

生徒には、掲示物やホームルーム等で話す機会を設ける。

保護者には、入学前や入学後の保護者説明会で説明し、理解いただく。

#### ③ 特記事項

特になし

#### ④委員コメント

・生徒のあいさつはすばらしく、浸透していることがわかる。

・勤務している卒業生は、素直な人が多い。

#### (2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④ 3 2 1

業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 (3) 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 (3) 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 (3) 2 1

① 課題

- ・情報公開については現在できていない部分もあるため、今後強化していく必要がある。
- ・教職員用のグループウェアが設置されたが、有効な活用がなされていない。

② 今後の改善方策

- ・ホームページ等で、情報公開ができるような運用が必要。
- ・グループウェアの活用方法を検討する。

③ 特記事項

特になし

④ 委員コメント

適切に運営されていると感じる。

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	(4) 3 2 1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	(4) 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	(4) 3 2 1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	(4) 3 2 1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4) 3 2 1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	(4) 3 2 1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 (3) 2 1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1

資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

① 課題

- ・外部の方からいただいた情報やアドバイスを共有できていない。
- ・教職員対象の研修がなかなか行えていない状況がある。

② 今後の改善方策

- ・教職員の会議等で、情報提供・共有できる時間を設ける。
- ・研修の機会を設け、積極的な参加を促し、教育力の向上を図りたい。

③ 特記事項

特になし

④ 委員コメント

- ・技術(ワインディング)が下手になって現場に入る学生が多い。就職前に、現場で必要な技術を復習できる授業が必要。
- ・素直で根性のある学生が多い。あいさつができ、一般常識も身につけている。
- ・リーダーシップを発揮する学生が多い。
- ・実習評価表の項目は、適切である。

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 2 1

--	--

① 課題

- ・退学者はもっと減らしたい。
- ・卒業生からの情報・コミュニケーションが不足している。

② 今後の改善方策

- ・卒業生とのコミュニケーションのために、同窓会サイトを活用したい。

③ 特記事項

特になし

④ 委員コメント

- ・同窓会サイトは、知らない卒業生も多いと思われる。啓蒙活動をし、活用できるようになったらよい。

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	(4) 3 2 1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 (3) 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 (3) 2 1
学生の生活環境への支援は行われているか	4 (3) 2 1
保護者と適切に連携しているか	(4) 3 2 1
卒業生への支援体制はあるか	(4) 3 2 1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 (3) 2 1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 (3) 2 1

① 課題

- ・健康状態、既往歴の把握がされにくい。
- ・高校との連携をもっとはかれるとよい。

② 今後の改善方策

- ・保護者へのアンケート、生徒との面談の中でしっかり把握できるようにする。

・高校へ積極的にアピールし、美容の仕事を勧められるようにしたい。

③ 特記事項

特になし

④ 委員コメント

・就職後、初めての一人暮らしでは、体調管理が難しいようなので、学生のうちから気をつけてもらえるとありがたい。

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	(4) 3 2 1
防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

① 課題

- ・設備が古くなってきているため、故障箇所がたびたび発生する。
- ・防災対策については、おろそかな部分がある。

② 今後の改善方策

- ・事前点検をしっかりと行い、修繕箇所を早めに見つけ対応する。
- ・災害時のマニュアルを教職員・生徒で把握できるようにする。

③ 特記事項

・wifi設置予定

④ 委員コメント

- ・設備等は充実しているように感じている。環境のせいなのか、物を大事に扱う学生が少ないように感じる。相手のことを思える心を育ててほしい。
- ・学校よりもサロンのほうが厳しい環境なので、学校は恵まれている。

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学生募集活動は、適正に行われているか	(4) 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	(4) 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1

① 課題

・募集活動は適正に行い、資格取得率、就職率等、パンフレットで伝えているため、課題は特にないと考えている。

① 今後の改善方策

③ 特記事項

特になし

④ 委員コメント

適正に運用されている。

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

① 課題

・システムの情報公開ができるようになってはいるが、内容についての教職員への共有が不足している。

② 今後の改善方策

・予算の内容、用途を明確にし、誰もが理解し使用できるようにする。

③ 特記事項

特になし

④ 委員コメント

適正に運用されている

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1

自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 (3) 2 1
自己評価結果を公開しているか	4 3 2 (1)

① 課題

・自己評価の公表はされていない。

② 今後の改善方策

・今後、公表する。

③ 特記事項

特になし

④ 委員コメント

今後、自己評価を公表されるとよい。

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	(4) 3 2 1
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	(4) 3 2 1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 (3) 2 1

① 課題

・地域に対しての働きかけが薄い。

・教育訓練の受託はしているが、希望者が出ていない。

② 今後の改善方策

・地域貢献のために、何ができるのかを検討し、実践する。

③ 特記事項

特になし

④ 委員コメント

・外部で行われるイベントやボランティア等には、積極的に参加してほしい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・大きな目標の退学率の低下は達成することができ、よい結果を出すことができた。今後は、さらに低下できるように努めていきたい。

・卒業生アンケートから、資格取得や行事、就職指導については満足度が高い結果が出ている。さらに、教職員の質を高め、退学にもつながってしまうであろう、授業の質を上げていく努力をしたい。

<委員コメント> 全体的に、しっかりしている学校と評価できる。これからも、感謝の気持ちをもてる学生を育



てほしい。また、自分で考えて動ける学生を育ててほしい。

以上